



2025年6月、WANOWAに新たな香りが登場。

北海道中川町には開拓が進む中で農業振興が行われ、明治時代からの和薄荷栽培の歴史があります。日本国内でのハッカの需要が増える中、北海道の気候や土壌がハッカの栽培に適していることが分かり、本格的な生産が始まりました。昭和初期には、日本は世界のハッカ市場の70%以上を占める最大の生産国となり、中でも中川町を含む北海道のハッカが高品質であることから主要な輸出品となりました。中川町もその一翼を担い地域経済の基盤となりましたが、戦後に不要不急作物とされ、化学的に合成されたメンソールが登場したことで、世界市場での日本産ハッカのシェアは徐々に縮小し、北海道のハッカ産業も衰退しました。中川町でもハッカの生産者は減少し、かつての活況は失われていきました。現在では、エコミュージアムセンター展示会場などで、わずかに栽培が続けられている和薄荷ですが、何とか中川町で生産を復活できないかと毎年少量生産されている貴重な和薄荷の精油を使用し、製品として発売し、今後の薄荷の生産の復活のために先駆けて商品としました。



ハンドクリームとクールヘア&ボディミスト 貴重な和薄荷を使い、ハンドクリームとヘア&ボディミストを発売いたします。すーっとする塗り心地と甘みのある薄荷の香りが優しく包み込み、髪にも使えるクールヘア&ボディミストも登場。夏の暑さ対策やエチケットにぜひお使いください。



LINE公式アカウント WANOWAの最新情報をお届け



PERFUMERS から お茶の香りを集めた Tea Party コレクションが発売

調香師が作る本格的で奥深い香りが特長のPERFUMERSブランドから新しく通年販売商品として、ほっと一息をつけような紅茶や緑茶の香りを集めたTea Partyコレクションが発売中。3種類の香りを詳しく説明いたします。

【ホワイトティー】

さわやかで清潔感のある、ホワイトティーの香り。毎年期間限定の香りで圧倒的な人気を誇る、ラストまでさわやかで良い意味で後を引かない香りです。

【アッサムティー】

フルーツのフレーバーティーから伝統的なストレートアッサムティーへ、心落ち着く紅茶をイメージした香り。inimuで先行発売され魅了される方が続出している、ドライ感がありつつもみずみずしく本格的な紅茶を思わせる香りです。

【グリーンティー】

高級感のあるさわやかさ、その中の渋みとまろみ、奥深いグリーンティーの香り。紅茶とはまた違った、日本人の感性ならではの高級感。日本の侘び寂びや深みに加えて、渋みやまろみも感じることができる、新作の香りです。



こちらの3種類は定番商品になり、今後はどの季節でもお手に取っていただけます。ティータイムに立ち上る湯気、香りを楽しみながら口に含む紅茶、その穏やかな時間を思い出しほっこりする、落ち着きを与える香りたち。どの香りも年代や性別を問わず、きっとプレゼントにも喜ばれるはず。ご自身にはもちろん、大切な方へのギフトにも、ぜひお試しください。

かお 馨る浅草 PROJECT

四季の香りが楽しめる イベント実施中！

ただいまinimu店舗では、浅草での思い出を季節の香りにより楽しんでいただけるよう「馨る浅草」イベントを実施中！浅草エリアの飲食店や雑貨ショップ、遊園地、レンタル着物、人力車など、多種多様なジャンルのお店とコラボレーションをして、人気の「PERFUMERSディフューザー」&「散策に便利なMAP」を設置し、浅草を良い香りに馨らせています♪

今の季節に楽しめるのは、春のやわらかい陽射しと風にそよぐ、可憐な「桜の香り」。隅田川の桜並木を楽しみながら、お土産にPERFUMERS桜の香りはいかがでしょうか？

※夏は「薔の香り」、秋は「金木犀の香り」を予定しています。



H HATENKO 破天荒

型を破れ

香りが導く、
伝統と革新で型を破る未来

HATENKO EAU DE PARFUM 2025.APRIL DEBUT

破天荒オードパルファム 2025年4月発売

型破りな手法で伝統文化を革新するフレグランスブランドが誕生します。「破天荒」の言葉が導くように、まだ知られていないこと、誰も成し遂げることがないことを切り開く。破天荒は、型にとらわれず挑戦する人を応援する存在として、日本文化と香りを通じて世界の文化人や伝統工芸士、職人と共に過去から未来へと様々な分野を繋ぐ架け橋でありたいと誕生しました。

2025年4月に発売するオードパルファムは、キャップに木曾檜を使用し加賀友禪の技法を施しました。ボトルのキャップとして使用するのは世界初の試みです。異業種の卓越した技を結びつけ、日本の伝統文化や歴史的背景を重んじながら、現代に新たな価値を創造するモノづくりを実現させています。



上部から見るとロゴの「H」が浮かび上がる日本の粋な意匠を表現

かつて世界を席巻し、日本を代表する芸術作品である浮世絵からインスパイアを受けたデザインと香りは、全部で5種類のオードパルファム(持続時間:約5~6時間)。すべての調香に、同社(キャライノベイト)を象徴する伽羅の香りと、加子母ひのき葉精油の香りが調合されています。化粧箱には浮世絵の特長的な配色がチャリと覗き、日本の「粋」を表現しています。破ることで香水ボトルが取り出せる包み紙は、かつて陶器を輸出する時に緩衝材として使われた浮世絵を再現しており、まさに「破天荒」の型破りな様を演出しています。キャップで使用している木は、浮世絵を代表する絵師と同じ時代に育った岐阜県の由緒ある木曾檜が賢沢に使われており、製品として木曾檜に加賀友禪の技法が融合されているのは世界初の試みです。香りからデザインまで型を破ったこだわりがある破天荒は、細部まで楽しめる伝統と技術が集約されています。



INSTAGRAM



HATENKO.JP

破ることで製品を取り出す仕様。また箱には香りになんだ狂歌が見える



キャライノベイトが挑む、まだ見ぬ未来へ

inimuを運営するキャライノベイトは2008年の設立以来、18年にわたり多くのお客様と共に、多種多様な香りの商品を手掛けてきました。その中で培ったモノづくりへの信頼、調香の技、そして日本の伝統文化を重んじる姿勢。

それにも関わらず、まだ自社ブランドとして形にできていない「挑戦」も多くあります。設立20周年を目前にし、今こそ私たちが持つすべての経験と技術を結集し、妥協のない商品を世に送り出す時だと考えました。

それが、新たな香水ブランド「破天荒」です。キャライノベイトが得意とするのは、異なる領域の世界観を結びつけ、新たな価値を生み出す複合的なモノづくり。そして、日本の伝統文化を守り、次世代に紡いでいくこと。

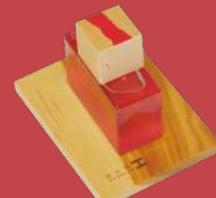
「破天荒」は、既存の枠にとらわれない発想と挑戦の象徴として、日本の職人たちの卓越した技術や挑戦を取り入れ、新しい価値観を込めた香りを生み出しています。

今後も香りを通じてキャライノベイトが追求する革新と、関わるすべての人々の想いを発信していくため、国内だけでなく海外にも焦点を当て、さらに広がりのあるモノづくりを挑戦していきます。



Hanabi

「花火」

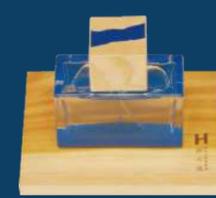


江戸の粋を今に伝える、夏の風物詩・隅田川花火大会。安藤広重の「名所江戸百景 両国花火」に描かれた幻想的な風景から、現代の浅草の情景を映し出す香り。

安藤広重「名所江戸百景 両国花火」

Isonami

「磯波」

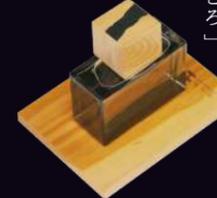


葛飾北斎「神奈川沖浪裏」に描かれる、潮騒に舞う荒波の息吹から、寄せては返す磯の風のように、力強くも透き通る香りを纏わせました。

葛飾北斎「神奈川沖浪裏」 富嶽三十六景より

Odoro Odoro

「おどろおどろ」

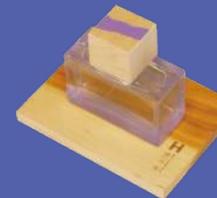


江戸の妖しき物語を今に伝える、幽玄なる世界観。題材の元になっているのは山東京伝の読本「善知安方忠義伝」歌川国芳の「相馬の古内裏」に描かれる不気味で美しい情景から、闇夜の冷たさと神秘を香りて表現しました。

歌川国芳「相馬の古内裏」

Sakigake

「魁」

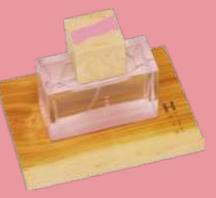


江戸の粋と艶やかさを今に映す、妖艶なる美の世界。喜多川歌麿の「御を持つ女」に描かれる、柔らかな色香と気品から、御越しに透ける美しさと、ほのかに薫る白粉の余韻を香りて表現しました。

喜多川歌麿「御を持つ女」

Sakura Fubuki

「桜吹雪」



春爛漫、吉原仲の町に咲き誇る桜並木。安藤広重の「東都名所吉原仲の町桜時」に描かれる幻想的な風景から、期間限定で植えられる新吉原の桜の優さと華やかさを、香りて閉じ込めました。

安藤広重 東都名所「吉原仲の町桜時」

ART DIRECTOR



株式会社キャライノベイト/丸岡 亮

海外経験を経て、手仕事を志す職人をリスペクトし、日本の伝統と革新を香りて表現する「破天荒」な世界を表現した。紙を破った形状から作成したロゴや浮世絵を再構築したコラージュなど、香りや浮世絵の世界観を大切にしながら、より日本文化の魅力を増強したデザインに挑戦。角度によって見える、製品の随所に散りばめられた粋な計らいも楽しんでほしい。

DIRECTOR



株式会社キャライノベイト/清水 篤

未知なる挑戦こそが、新たな価値を生む。「破天荒」は、常識にとらわれず、まだ誰も踏み込んだことのない領域へと挑む香りのブランド。芸術、文化、歴史を香りて再構築し、感性を揺さぶる体験を提供する。ディレクターとして、その革新性にこだわり、単なる香水ではなく、人の心を動かすアートとしての香りを創り上げることに情熱を注ぐ。

破天荒人

CRAFTSPERSON



早川 謙作(早川木工所)

世界初に加賀友禪の美しい色をのせる際に着いた木だと樹脂が出てしまうため、江戸時代(まさに浮世絵作品を代表する葛飾北斎や安藤広重が活躍した時代)に自生した、木曾檜(樹齢約250年相当)を賢沢に使用。建具材としても世界トップレベルの高級木材で、太く真っ直ぐな優良材である。浮世絵の絵師達が生きた時代と同じ木材が香水のキャップとなり、現代の人々に触ったり見ってもらうことで、木も幸せだと思う。

CRAFTSPERSON



奥田染色株式会社

加賀友禪は、私共の石川県金沢市という地域に深く根ざした伝統的な技法であり、細やかな手仕事を重ねることで、美しい模様を生み出しています。破天荒では、貴重な木曾檜にその技法を取り入れ、精緻な手作業による装飾をアートとし、視覚的な美しさを生み出しています。伝統を守りながら新しい形でその美を表現できることに誇りを感じています。より多くの人々に魅力を知ってもらえたら、職人としてこれ以上の喜びはありません。